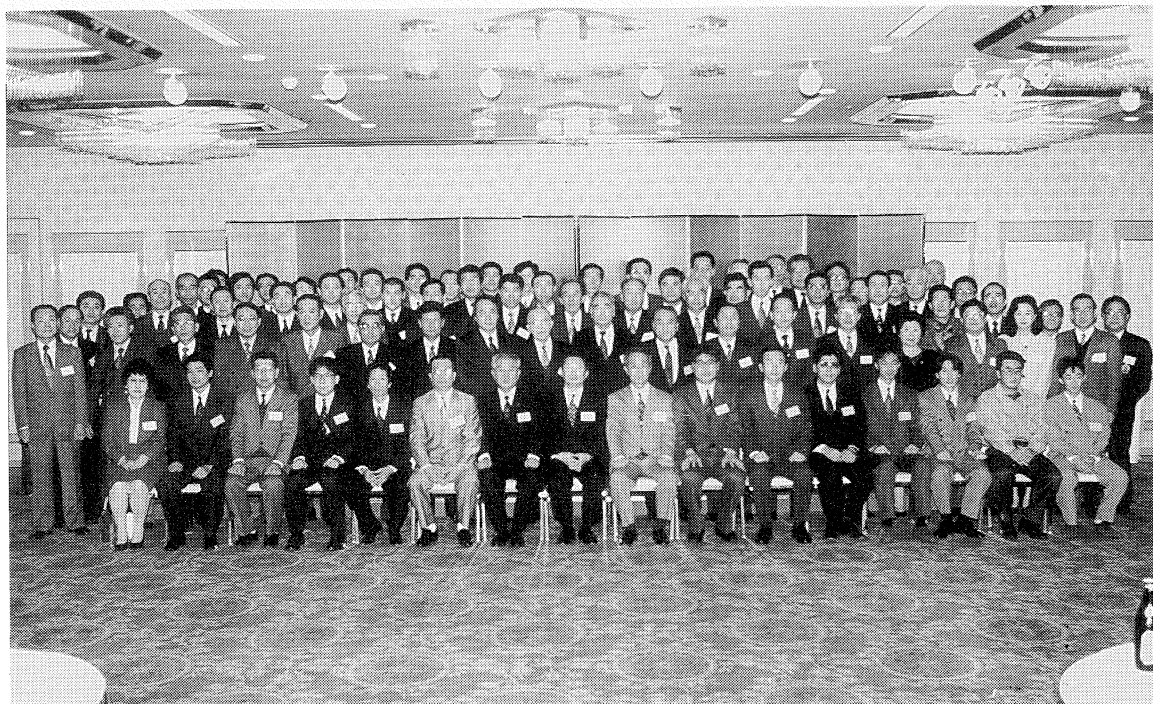


岐阜県の プラスチック

新年互礼会に組合員・賛助会員らが参加し、交流と親睦
阪神大震災救援に大松理事長ら新年互礼会参加者一同が義援金を贈る
今年度の技能検定合格者（1級1人、2級11人）に合格証書を伝達
策定、告示された環境基本計画
安全運転に『SDカード』を。自動車安全運転センターが発行
デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局だより

新年互礼会で来賓・組合員・賛助会員一同が揃って記念撮影



恒例の新年互礼会を盛大に開く

賛助会員招き交流と懇親 検定合格者には証書の伝達

工業組合は1月21日午後、岐阜グランドホテルで『新年初役員会』に続いて『新年互礼会』を開催した。役員会は平成7年度の事業計画や予算を審議する理事会や通常総会の日程などを協議した。新年互礼会では組合員60人が参加、今年とはくに賛助会員22人の出席をえて和やかに交流・懇親を深めた。

また、懇親に先立って『技能検定合格証書伝達式』を行い、今年度のプラスチック技能検定試験に合格した12人の前途を祝った。

総会は5月26日岐山会館で開催

新年初役員会は、当面の組合運営について協議し、平成7年度の第27回通常総会の日程を5月26日（金）に岐阜市日の出町の岐山会館で開催することを決めた。当日は午後3時から理事会、同3時30分から総会を行い、続いて記念講演と懇親会を開催予定している。

総会に提出する議案は3月22日（木）に新年度の事業計画や予算などについての役員会、さらに4月27日（木）には総会に提出する事業報告や決算などについて審議する理事会を開くなど、総会議案全体をまとめていく。とくに新年度は欧州産業視察団派遣事業や任期満了に伴う役員改選など、重要議題が多く、組合員の参加が求められる。

阪神大震災の被害と惨事をいたむ

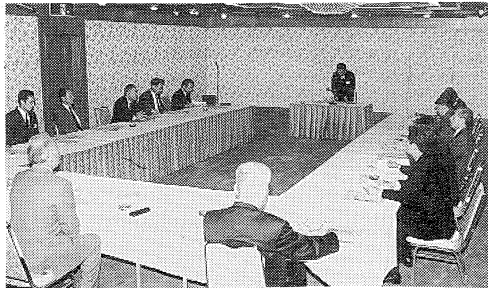
新年互礼会は来賓、賛助会員、組合員、それに技能検定合格者が加わり、かつてない百人もの人が参加する賑やかなパーティーとなった。このため恒例の記念撮影（表紙の写真）も壇上からはみ出す人が出て、互いに譲り合うなど、

和気あいあいの中で交流と懇親を深めた。

互礼会は、大松利幸理事長があいさつに立ち「年頭に当たりおめでとうございます、と言いたいところですが、阪神大震災によって想像を絶する惨事と被害を思うとき、決して安閑としておれません。そのおりから年賀の行事を取り止めては…の提案もありましたが、開催準備が進んでいましたので実施することにしました。未だ不況から立直れないというのに、国を揺るがす震災に直面するなど、暗い新年のスタートになりましたが、何とか禍を転じて明るい局面にしたいものです」と述べた。

世界全体が低価格の大競争時代に

さらに大松理事長は「昨年は低価格に明け暮



新年度の総会日程などを決めた役員会



来賓、賛助会員、組合員ら
約百人の人が一堂に参加し
和やかに交流と懇親を深めた

れ、メーカーにとって大変な時代であった。この価格破壊は日本だけかと思っていたところ、ヨーロッパでも、アメリカでも非常な低価格時代に入っていると聞きました。例えば東ヨーロッパでも、メキシコでも、東アジアでも安い人件費を使って大量に物づくりを行い、先進国へ供給、世界全体が大変な低価格時代に見舞われているわけです。この現象を大競争時代といわれます。今後、数年は世界全体で、この大競争時代が展開されると見てよい」と、慎重な経営姿勢で進むように呼び掛けた。

多くの課題に組合・業界ぐるみで

続いて来賓の田中孝二県商工労働部中小企業指導課長と関谷裕彦県工業技術センター場長の二人があいさつした。

田中中小企業指導課長は「プラスチック業界を取り巻く環境は、廃棄物の処理・再資源化問題、価格破壊の問題、製造物責任法への対応など幾多の課題を抱えて大変厳しいものがあるが組合・業界ぐるみで的確に対応し、事業展開を図ってほしい」と前置きした後「県としても景気対策が当面の最優先課題であるとの認識のも

と、地域経済特別対策の充実を図ってきたが、今後とも景気動向の推移を見守りつつ適切に対処していきたい。」とする田辺正美県商工労働部長のメッセージを伝えた。

県の試験場を愛し活用してほしい

また、関谷場長は「互礼会に先立って技能検定合格者に対する合格証書の伝達式がありましたが、物づくりの尊さを考えますと、技術・技能の大切さは欠かせないといえます。とくに近年は、国際化や発展途上国の追い上げもあって品質の向上が何よりも重要なことで、各企業では技術・技能のレベルアップに正面から取り組んでいただきたい。国では製造業においては“創造的中小企業”づくりを提案し、県としても研究開発を中心に施策を打って出る方針で、数々の事業を新年度予算案に盛り込んでおります。しかし、こうした施策や事業をいくら予算化しても各企業の方々に活用してもらわねば何の価値もありません。どうか技術センターと各地にある試験場を愛し、活用していただき、企業と業界の振興に役立ててもらいたい」と呼び掛けた。

互礼会の席上で、検定合格証書伝達

1級1人、2級11人、今後の活躍を激励

工業組合は新年互礼会の席上で、平成6年度のプラスチック射出成形作業・技能検定の『合格証書伝達式』を行った。今年度の検定合格者は、県全体で1級が学科、実技ともで18人が受験、2人合格し、2級は同67人が受験して24人



大松理事長から合格者の一人一人に手渡される検定合格証書

が合格した。その合格率は1級が11%、2級は35%に達し、昨年度の実績1級0%、2級22%を上回った。組合員企業からは1級1人、2級11人の合格だった。合格証書の伝達式は、互礼会に出席した組合員ら関係者が見守る中で、大松理事長が一人一人に合格証書と技能士章を手渡し、激励した。なお合格者は次のみさん。

〈1級〉

小島 廣一 (岐阜プラスチック工業(株))

〈2級〉

原田 修 (岐阜プラスチック工業(株))

鷓飼 良太 (岐阜プラスチック工業(株))

酒井 秀樹 (岐阜プラスチック工業(株))

三嶋 英樹 (ムトー精工(株))

佐藤 忠 (岐阜プラスチック工業(株))

桜谷 尚兄 (岐阜プラスチック工業(株))

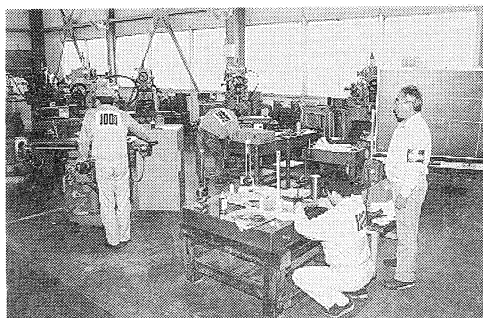
岩田 健二 (岐阜プラスチック工業(株))

須田 和男 (大栄工業(株))

菱田 健一 (岐阜プラスチック工業(株))

尾藤 幸宏 (岐阜プラスチック工業(株))

小林 義裕 (岐阜プラスチック工業(株))



金型製作の技能検定に3人が受検

工業組合は1月15日、岐阜職業能力短期大学校で『プラスチック成形用金型製作作業』の技能検定を実施(上の写真)した。受験者は3人で、降雪にかかわらず午前8時30分までに集合3時間30分の規定時間に立フライスと手作業で課題の成形用金型を製作した。続いて2月12日には、岐阜大学で学科試験が行われた。

震災救援へ義援金贈る

「新年互礼会で組合員らが寄託」

工業組合は阪神大震災救援の義援金募集を行い、集まった9万円を岐阜新聞・岐阜放送社会事業団を通じて被災地へ贈った。

この義援金募集は新年互礼会に集まった大松理事長ら組合員、賛助会員百人が寄託した。

組合員が現地へ救援物資を送る

岐阜プラスチック工業(株)は阪神大震災の救援物資にと、水を詰めたポリタンク（容量2,000ℓ入り）24個とポリバケツ5,000個を兵庫県消防学校あてに送った。



震災救援で募金する互礼会参加者

コダマ樹脂工業(株)では大、中、小各種のポリタンク3,000個を被災地へ送った。

二大施設の利用で要望

大松理事長が梶原知事との懇談で

岐阜県中小企業団体中央会は、昨秋大垣市に梶原県知事を招き『知事と中央会役員との懇談会』を開催したが、その席上、工業組合の大松利幸理事長は「ソフトピアジャパン、VRテクノジャパンの中小企業利用対策の充実」をテーマに要望した。

大松理事長は中央会の常任理事として活躍、委員会活動では情報専門委員会に所属し、副委



梶原知事に要望する大松理事長

員長の立場にあることから代表して要望したもの。要望の趣旨は、現在、岐阜県が夢おこし夢そ

だて事業として建設を進めるソフトピアジャパン、VRテクノジャパンの二つの施設利用を中小企業対策の一環として進めてほしいと提言したものの。

その内容は「県内の中小企業は、県が進める二大プロジェクトにかかる期待は大きく、情報技術を駆使する新産業の育成と、地場産業を中心に情報化支援機能の充実を要望する。また、こうした施設を活用してコンピュータ処理技能者の育成など中小企業の実情にあった支援と対策の充実を進めてほしい」である。

高齢者の就業支援センターが開設

岐阜公共職業安定所は、3月から岐阜市金町4にある明治生命ビル7階に『岐阜高齢期雇用就業支援センター』を開設する。

高齢化が進む中で高齢者の豊かな知識・経験を生かし、少なくとも65歳までは各分野で働いてもらおうという趣旨で、就業者の相談援助を行うのがねらい。

市町村と企業の両方が責任を負う 策定、告示された環境基本計画

工業組合は1月21日岐阜グランドホテルで開いた役員会のあと『製造物責任法（PL法）および廃プラスチック製品のリサイクル』について研修を行った。その内容は、PL法制定にともなう『消費生活製品の取扱説明書等のあり方』と『製品事故・苦情処理対応の基本的な考え方』で、さらに環境基本法に基づく『環境基本計画と包装廃棄物に関する新しい回収・再生利用システム』がテーマで、岐阜プラスチック工業(株)の下村康夫開発情報部長に解説してもらった。

ここではプラスチック業界に直接関連する『環境基本計画と包装廃棄物に関する新しい回収・再生利用システム』について紹介することにした。

発生を抑制、回収、再生利用

環境基本計画は、平成5年に制定された環境基本法に基づいて策定され、昨年末の12月28日に告示された。基本計画の骨子は①計画策定の背景と意義②環境政策の基本方針③施策の展開④計画の効果的実施—の4部門からなり、盛り込まれた内容を地球環境改善への大綱とし、種々の政策がとられていくことになる。この中からプラスチック業界と直接関連するのは、施策の展開で示された『廃棄物・リサイクル対策』である。

廃棄物・リサイクル対策の考え方は、まず第1には廃棄物の発生の抑制、第2に使用済み製品の再使用、第3には回収されたものを原材料として利用するリサイクルを行い、それが技術的な困難性、環境への負荷の程度などの観点から適切ではない場合、環境保全対策に万全を期しつつ、エネルギーとしての利用を推進する。

今後は廃棄物・リサイクル対策に関する責任やコストのうち、必要なものについては事

業者、消費者、地方公共団体および国の間で適切に分かち合うこと。同時に製品の開発、製造、輸入、流通、消費、回収、再生利用の各段階において、廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進するよう経済社会システムの構築を進めていく必要がある。廃棄物・リサイクル対策の目標は、早急に検討を進め、必要に応じてその設定や見直しを行う。

使い捨て製品の使用自粛を促進

廃棄物の発生抑制については、リサイクルの推進のほか、事業者において使い捨て製品の製造販売や過剰包装の自粛、製品の長寿命化等を図るなど、製品の開発・製品段階、流通段階での配慮が行われることを促進する。また、国民の生活様式の見直し、使い捨て製品の使用自粛などを促進する。

廃棄物の発生抑制のため、一般廃棄物の従量制による処理手数料の徴収を推進するなどの経済措置を活用すること。

適正なりサイクルの推進では、容器等の最使用が行いやすいよう規格の統一化、使用済



PL法や環境対策で研修し、対応策を協議した役員会

み製品の交換・販売機会の提供を推進する。

回収・再生利用の推進には、環境への負荷低減のため、リサイクルが容易な製品づくりを事業者が行うことを推進する。市長村においては分別収集の推進の徹底や商品の流通経路等を利用した回収システムの充実、古紙の回収システムの健全な維持を図る。

リサイクル製品の規格化検討

リサイクル推進のための預託払い戻し制度（デポジット・リファンド・システム）等の経済的措置活用の検討や、事業者による製品等の引取りに関する仕組みについて検討を行う。また、事業者が再生資源の利用率目標の達成、再生資源の新規用途の開発など個別品目の状況に応じた再生処理能力の向上を促進する。再生資源やリサイクル製品は、初めて使用される資源やこれによる製品に比べて割高になることも踏まえ、国や地用公共団体、事業者、国民すべての主体がリサイクル製品を積極的に利用し、リサイクル製品の利用・市場の育成等を推進する。さらにリサイクル製品の規格化の検討を進める。

包装材は廃棄物の原料化を図り、環境への負荷を低減するため、市町村が包装廃棄物を分別収集して事業者が引取り・再生利用を行う新しいシステム導入を検討し、必要な措置を講ずる。一般廃棄物については廃プラスチックの油化などリサイクル関連施設の整備を推進し、廃棄物循環型のごみゼロ社会をめざし、21

世紀初頭を目途に廃棄物のほとんどすべてを単に燃やして埋める処置から、極力リサイクル推進を展開していく。

再生利用の新システムの要点

現在、検討されている包装廃棄物の回収・再生利用の新システムのポイントは①市町村が包装廃棄物を分別収集し、これを企業が引取って再生処理を行う②企業の責任は個々別々に果たすことは困難なため、企業の主導により第三者機関を設立し、その第三者機関が再生に要する費用（いわゆる逆有償額）を負担する形で責任を分担する③対象となる包装はすべての包装で、飲料用のビンや缶詰などに限定されない。ただし企業に再生責任が生じるのは、市町村が一定の基準にしたがって分別を行った場合で、企業の責任が過度に重いものにはならない④企業の費用負担は、用いた包装の量と質によって決まる一など。

こうした新システムが完全実施されれば、一般廃棄物の重さで30%、容積で60%を占める包装廃棄物が、ごみとして焼却や埋め立てされる量は基本的にはゼロに近づくという。

塩ビ業界の話題

国内の塩ビ4社が共同でリストラ

5つの工場を統合し、新会社『新第一塩ビ』を7月に設立

日本ゼオン、住友化学工業、トクヤマ、サン・アロー化学の塩化ビニル樹脂の製造施設をもつ4社は、今年7月に共同出資の新会社『新第一塩ビ』を設立、発足させる。新会社は設立による塩ビ部門統合による規模の拡大を図り、赤字が続く塩ビ樹脂事業の国際競争力を高めるのがねらい。

市況の下落と需要の不振に直面

塩ビ4社が事業統合に踏み切った背景には、各社ともこれ以上の赤字には耐えられないという切羽詰った事情がある。

現在、国内の塩ビ樹脂の市場規模は年間200万ト。それを15社がひしめき、パイを奪い合っている。15社の生産能力は年間230万トにも達するからだ。市況の下落と需要の伸悩みに直面したこの2～3年で、採算は急激に悪化し、業界全体で200億円もの赤字を出したという。

国際的に見ても、1社平均で年間15万トを切る生産規模では小さすぎ、世界のコスト競争にも太刀打ちはできない。

新会社は国内最大のメーカーに

4社の塩ビ樹脂事業部門の統合による新会社は、もちろん国内最大の塩ビ樹脂メーカーとなる。国内に5つの工場を持ち、その生産能力は年間43万トになり、現在トップの信越化学工業の39万トをしのぐことになる。

実際には、新会社が生産を出資、製造を各社

に委託する形をとる。従業員は営業、研究、管理の各部門で構成し、合計80人となる。塩ビ部門の4社合計の現有勢力は135人だから、55人分の人件費削減が期待できる。

新会社は設立当社は、塩ビ樹脂の製造・販売だけを手がけることになるが、将来は原料の塩ビモノマーや川下にあたる加工品の生産にも手を広げて、総合塩ビメーカーをめざしていく方針である。

塩ビ業界では、4社統合によるリストラ成果を疑問視する向きもあるが、他社がひたすら景気回復を待つ中で、共同で事業の再構築に大きく踏み出したことに評価が与えられる。

プラごみと紙ごみを固形燃料に

— 廃棄物研究財団が技術開発 —

ペットボトルなどのプラスチックごみと紙のごみから固形燃料に一。これは厚生省の廃棄物研究財団が技術開発したもので、一般的なごみ処理の3割増し程度のコストで、プラスチックと紙ごみを混ぜた固形燃料の生産に成功した。これまでビンやアルミ、鉄くずなどの廃棄物は商業ベースで再生方法が確立され、ごみ全体に占める割合の大きいプラスチックと紙の再生処理が課題であった。

廃棄物研究財団によると、プラスチックごみと紙ごみを2対8にし、ごみを細かく砕き、鉄やガラス片などの不燃物を除去した後に固めると、銭湯や製紙工場などで広く使われている木くずボイラーと同等の熱量を得られた。リサイクルコストは1ト約2万6千円。

安全運転にSDカード

「自動車安全運転センターが発行」

交通事故が再び増加傾向にあるが、自動車安全運転センター岐阜県事務所（事務所は岐阜県庁内）では、職場ぐるみの安全運転対策を進めるために『SDカード』と『運転記録証明書』を活用してほしいと各企業に呼びかけている。

平成5年度の自動車と原動機付自転車の交通事故をみると、事業所などの通勤を含めた「事業目的」が全体の38.5%も占めている。このため安全運転対策を進める方法として「運転者の運転実態を正しく把握し」「安全運転管理者を中心に事業者や職場ぐるみで取り組む」と実効

が上がるといわれる。

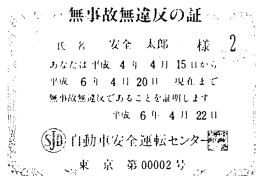
安全運転センターが発行する『SDカード』と『運転記録証明書』は、職場の一人一人の運転実態を表し、安全運転への励みになるとし、職場の全員で話し合っ取得、活用するところが増えている。

『SDカード』は、その人の無事故・無違反の期間がわかり『運転記録証明書』は、交通事故や違反内容、累積点数が記載されている。すでに活用している事業所から「業務だけでなく私用も含めて事故や違反が目立って減少した」「職場の安全運転者表彰が的確に行えるようになり、職場が明るくなった」「作業能率が上がり業績が向上した」などと寄せられている。

- SDカードでは、無事故・無違反の期間がわかるようになっています。



～SDカードの例～



(注)1 SDカードは、無事故・無違反の年数により色分けされています。

- 1年……………若草色
- 2年、3年…水色
- 4年～9年…銀色
- 10年以上…金色

(注)2 このSDカードは、証明に際し、証明日前1年以上にわたり無事故・無違反を続けた運転者に贈呈しております。

(注)3 このSDカードは、安全運転者であることの誇りと自覚を象徴するものです。さらに、引き続いて安全な運転をされるようにとの願いが込められています。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6320(大代表) (〒100)

豊かなデザイン—10

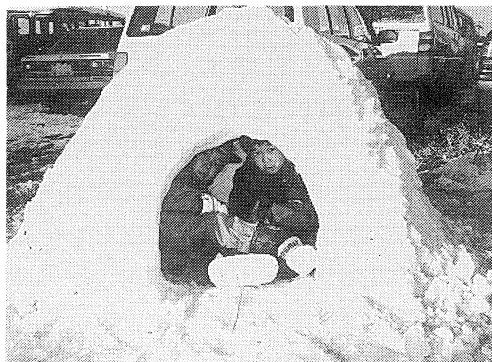
『デザインの心—1 “理”』

岐阜県プラスチックデザイン協会

■1月17日、明け方の突然の揺れ以上に驚いたのが、災害対応への“まずさ”でした。テレビを見ながらイライラしませんでしたか。「事故のデザイン」(第115号)でも言及しましたが、日本は、やはり国民の命に対するデザインが発展途上の国家だと確信しました。世界に誇れる日本に脱皮するには、いろいろな面でまだまだかかりそうです。

さて、この点については別の機会としまして今後のメインテーマ「デザインの心」は、デザインの本質的な部分を、身近な話題によって話して行きたいと思います。今回は『理』です。

●あの地震の前々日、岐阜地域にこの冬初めて雪が降り積もりました。私の子供たち3人は、雪の降る中へ喜んで飛び出し、早速雪国をまねてカマクラづくりを始めました。近所の子供も加わったのですが、どうもはかどらないと思ったのか、私に(母親は寒いからイヤというので)助けを求めて来ました。彼らなりにソリを使うなどして雪を集めていたようです。ところが、固めると小さくなりますのでちっとも大きくなりません。そこで、雪だるま式の集め方を示しますと、皆遠くからころがして集めはじめ、やがてカマクラ周囲の道路から雪がほとんどなくなる頃、やっと写真の大きさのカマクラができました。彼らの目標は完全に中に入れる大きさだったのですが、そこまで雪は降ってくれませんでした。表面をきれいな雪でおおいツルツルにしたいとか、旗をたてよう窓をあけようという意図を話していましたが、太陽が出たとたんに、ソリ遊びへと移動して行きました。



●カマクラづくりという遊びの中にも、デザインプロセスが全て含まれています。突然の情報(雪)に対応してすばやく目標(かまくら)を定め、適切な時間(3時のおやつ)までに出来るようになるために必要な人材(父親)や資材(雪)を得るなど、プロセスをデザインすること、これをワーク・デザインといいます。品質管理をしている方にはおなじみでしょう。工業デザインでも重要な作業で、人・モノ・金・情報を管理して効率的で的確なデザインをさせることを『デザインマネージメント』と呼びます。これは、現在の社会・経済状況を反映して、たいへん重要な分野となっています。

実は、到達目標に向かい筋道をたてて考えること、これを『理』と呼べば、これこそがデザインの本質なのです。デザイン=感性と思いがちですが『理』にかなってこそデザインで、そうでないものは、アート(のまつり)となってしまうのです。もし子供たちが、表面をきれいにすることに気をとられたり、最後まで大きなものを望んだりしたら、結局カマクラは出来なかったでしょう。ただ、彼らのように最後の仕上げを放棄しては、何にもなりません。

[岐阜県工業技術センター パーマン]

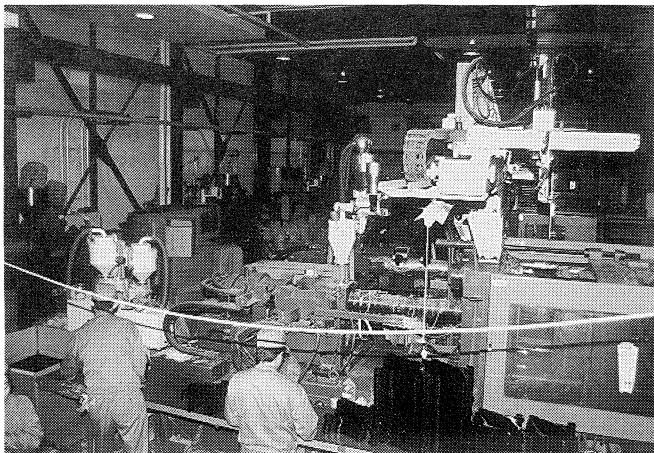
技術を生かし地域とつながる商品開発

アバステクノ(株)

今回の工場訪問は一番新しい組合員、アバステクノ株式会社（本巢郡穂積町宝江477番地松久武史代表取締役、資本金1,600万円、従業員数パート含め60人）を訪ねた。会社と工場は岐大バイパスの下午牧交差点から南へ数百メートル行ったところ。穂積町内といっても南の外れで、安八町や墨俣町に近い。

創業は昭和33年、京都で絹糸やミシン糸などの巻糸加工をしていたことから、糸を巻く樹脂ポビンの開発を手がけたのが始まり。松久社長は「それまでの糸巻きのコマやポビンは木製だった。樹脂化によって品質やコストを改善、ユーザーからも認められ、企業化した」とプラスチック成形との繋がりを説明する。

当初の成形工場は京都にあったが、昭和44年量産化に当たり祖父の出身地（揖斐郡大野町）に近いこの穂積町へ全面移転し、8台の成形機でフル生産したという。同46年には法人へ改組松久プラスチック(株)とし、巻糸加工業からプラ



新工場に社名、名実ともに一新、活気がみなぎる成形工場

スチック加工業へと変身した。

樹脂ポビンは実用新案特許を持ったこともあって受けに入り、大手商社を通じ全国の製糸工場へ納品した。ところが業界の変遷はシビアなもので、昭和60年代に入ると、繊維工業の衰退から需要が減退し始め、樹脂ポビンに加え、ハンガーなどのアパレル関連資材や梱包資材の生産へと、新分野への転換を余儀なくされた。

工場の全面改築、同時に社名変更

松久社長は「京都で巻糸加工を創業した祖父そして樹脂ポビンを開発・企業化した父や父の兄、いずれも持ち前の技術を生かし専門メーカーとして活躍してきた。しかし、業界を取り巻く環境は厳しく、企業間競争は激しくなるばかり。昭和63年には、代々培われてきた経営を引き継いだのですが、この時、真っ先に考え直したのが企業の将来方向だった」と振り返る。

その結果、技術を生かし地域とつながる商品の開発をめざすこととし、技術者の養成と同時に工場の全面改築を計画、実行に移した。平成

4年には1階に70トから450トの成形機20台を有する成形工場その2階には本社事務室や作業所を配した新工場（延べ1,450平方メートル）を完成、続いて押し出し加工や金型加工を行う稲里工場を完成させるなど、将来へ向けた生産体制を整えた。

同時に「前進と技術を意味するアバステクノへ社名を変更し、名実ともに一新した」と話す松久社長の目は輝いていた。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

阪神大震災により被災された方々
に謹んでお見舞いを申し上げます

阪神大震災…。死者5千人をはるかに超える戦後最悪の惨事となった。震度7の激震は、交通、通信などの近代的機能が集積した大都市を襲い、建物、電気、ガス、水道などと、生活に欠かせないライフラインに至るまで、築き上げて来たさまざまな社会システムを、無惨にも打ち砕いてしまった。

震災国日本。もしこれが岐阜県に起きていたならば…。活火山や活断層を抱える岐阜県、決して安閑としてはいられません。その意味でも阪神大震災は、国や自治体はもとより企業にも貴重な教訓を与えてくれました。

紙上ではありますが、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

□新年互礼会に多くの組合員が参加□

工業組合は新年初行事として1月21日、岐阜グランドホテルで『新年互礼会』を開催しましたが、多くの組合員に参加していただき、交流・親睦を図ることができました。今年とはくに賛助会員の方々にも参加していただき、大いに懇親を深めることができました。

□技術・市場交流研究会を募集中□

岐阜県工業技術センターは3月3日まで、新年度事業として実施する『技術・市場交流研究会』の参加企業を募集しています。厳しい環境の中で、中小企業が生き残り、さらに発展するには企業そのものの体質改善が求められます。会員募集している技術・市場交流研究会は、異業種企業の集まりで、体質改善への新しい発見があり、実りある成果が期待できます。

募集は20社程度で、任期は平成8年3月まで希望は工業技術センターか各試験場まで。

□射出成形の技能検定受検者を募集□

工業組合は新年度も『プラスチック射出成形技能検定』を実施することになり、近く受検者を募集します。とくに新年度の前期分として、これまでの1級、2級に新しく3級を加えて実施し、後期には特級を予定しています。

岐阜県のプラスチック 1995 121号

平成7年2月15日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内 安之

ポリエチレン

スミカセン[®]

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート[®]

ポリプロピレン

住友ノーブレン[®]

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット[®]

メタアクリルシート

スミペックス[®]

メタアクリル樹脂

スミペックス-B[®]

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE[®]

合成ゴムSBR

住友SBR[®]

合成ゴムEPR

エスプラン[®]

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト[®]



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

出光の石油化学製品

ポリスチレン
スチレン系耐熱樹脂
ポリカーボネート
GFPET

ポリプロピレン
高密度ポリエチレン
直鎖状低密度ポリエチレン
カルブ®

 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎ 052-204-6051~3

ShinEtsu 信越PVC

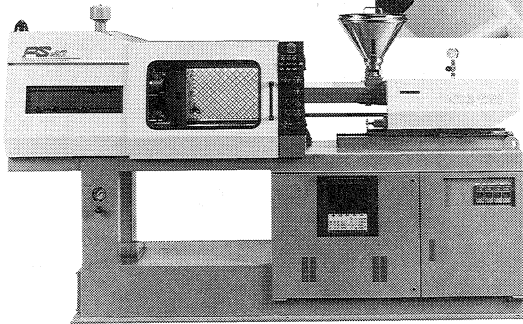
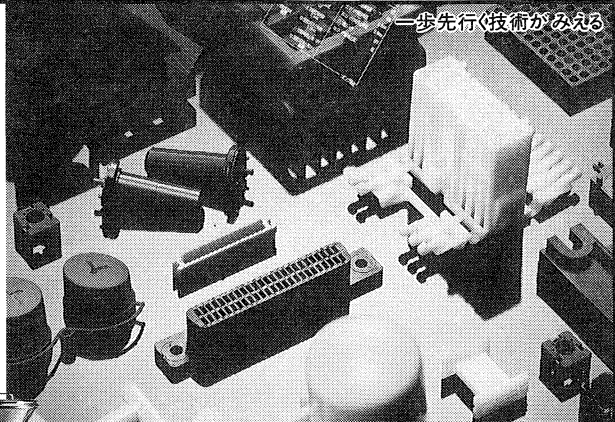
生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎ (052) 581-0651

精密成形を究めると PSシリーズになる。

最新の電子コントローラを搭載し、射出性能と操作性を向上させ、FA対応においても一層の高性能化を図りました。新感覚の生産工場を実現する価値ある射出成形機、それがNISSEIのPSシリーズです。



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430

三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

●東京事務所 ●アニュアルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪

●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国20ヶ所 ●海外サービスステーション / 28ヶ所

ハイテクノロジーに挑戦

MEIKI

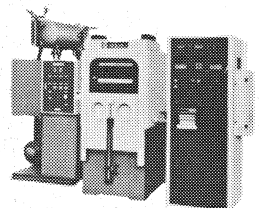
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



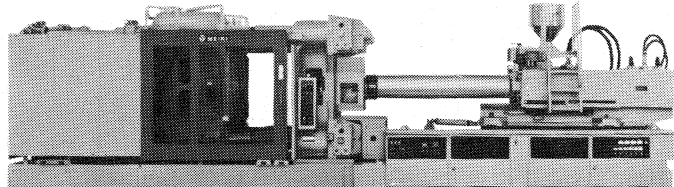
ディスク専用機



セラミック専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社 **名機製作所**

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は...

JSR 合成樹脂ワイドセレクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

JSR AES

タイコウセイジュシ

JSR XT

チヨウタイネツジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

ジコシヨウカセイジュシ

JSR MBS

PVCキョウカヨウジュシ

JSR EXCELLOY

フクゴウガタタイネツジュシ

JSR CONDUCTOR

ドウデンセイジュシ

JSR AS

コウキノウガタASジュシ

JSR RB

フタジエンジュシ

JSR TR

ネツカンセイエラストマー

JSR SIS

ネツカンセイエラストマー

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

コウキノウポリマーアロイ

MAXLOY

DYNA FLEX

LENK FLEX

エラストマーケイフクゴウザイ

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店☎(06) 203-0041

名古屋支店☎(052)571-1231

広島支店☎(082)221-7252



活きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 粒状品

アクリライト [®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット [®]

ABS樹脂

ダイヤペット [®] **ABS**

三菱レイヨン
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

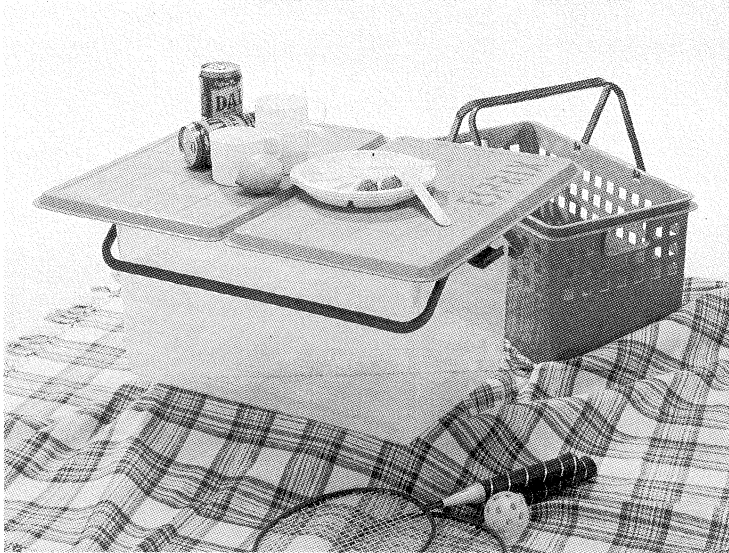
ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)



ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社:岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部:各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- リスパック(株)
- リス(株)
- 東北リス(株)
- 東京リス(株)
- 大阪リス(株)
- 四国リス(株)
- 九州リス(株)
- リスエンジニアリング(株)